善巧寺報（ぜんぎょうじ）

6月号

東京教区　埼玉組

月刊◉善巧寺報

〒344-0032 埼玉県春日部市備後東4丁目1番17号
TEL 048(734)7660　榎本明覚

▼二〇二五年六月一日▲

三浦半島最南端の城ヶ島付近の空撮、左手が城ヶ島（神奈川県最大の自然島）、右手が本土、間に見えるのが城ヶ島大橋、中央奥が三崎漁港

東京教区の名品・特産品 ～ 三浦組 三崎マグロ ～

みほとけ会月例会

☀ ZOOM ミーティング ☀

みほとけ会では引き続きZOOMを用いた法話や学習会を行っています。
開催日時は、
毎月第一木曜日、第三木曜日
午後八時開始・九時すぎ終了
参加ご希望の方は、
jetfidget@gmail.com まで

◆◆春日部だより◆◆

◎去る五月十八日(日)、善巧寺門信徒総永代経法要を皆さまからのご懇志を仏前に奉呈しお勤めいたしました。尊いご懇念、お心遣いを運んで下さった皆様、境内整備や仏具おみがき等にご尽力下さった皆様に厚く御礼申し上げます。お蔭をもちまして本年も無事円成させて頂く事が出来ました。

Covid-19 の影響で、住職が導師も法話も行ってきましたが、そろそろご講師を招聘したいところです。

◎大阪万博に合わせてか、奈良国立博物館では開館一三〇年(それもスゴイ！)の記念企画として、法隆寺の百済観音(飛鳥時代の作)を始めとする国宝百十一点が展示されています。ガラス越しではなく直接拝見できるそうで、これは是非行ってみたいところですが、やらねばならないことも沢山あり・・・悩ましいところです。

聖徳太子に似せて作られたという伝承もある百済観音。だとすると、太子は身長二メートル近い長身、かなりスリムな体形であられたという事になりますね。岡倉天心が国宝調査の際、朝鮮風観音と記録したと推定され、和辻哲郎が『古寺巡礼』内で「百済観音」と呼んだことから、現在のネーミングになっているそうです。

定例法座

毎月十一日

◎六月十一日(水)午後二時～三時半

於　法輪会館

「法名とは」

浄土真宗では開祖である「親鸞聖人が「釋 親鸞」と名乗られたことに基づき、「釋 ○○」と言う法名を頂きます。「釋」は姓名の「姓」に当たります。中国に仏教が伝来した当初は、戒を授けてくれた師匠の姓を付すことが行われていましたが、四世紀に活躍された道安は、仏教の師は元をたどればお釈迦さまに帰すのだから、釈の字をもって氏とすべきと提唱し、自ら釋道安と名乗られたことが「釋」氏の起こりです。親鸞聖人の著作『尊号真像銘文』には尊敬する曇鸞大師の名を「釋曇鸞法師」と記しており、自らも「愚禿 釋親鸞」と名乗られました。『歎異抄』の有名なフレーズ「親鸞は弟子一人ももたず候」にあるように、仏の御はからいによって他力の信心を決定し念仏申す身と成ったわけで、皆仏の力に依るものと受け取るのが他力本願の教えです。その大本をたずねれば、お釈迦さまが汝を決して捨てぬと誓われた阿弥陀如来の本願を説かれた事に始まる訳です。よって、皆人平等にお釈迦さまの弟子であるということから「釋 ○○」と名乗られたと言う事が解ります。浄土真宗の人は等しく阿弥陀如来の広大な慈悲の船に乗って彼岸に渡らせて頂くのですから、そこには位や身分という私たち凡夫の価値を差し挟む余地は無いのです。

ちなみに、本願寺の護持発展に寄与された方、社会的に功労があった方には「○○院」という院号が授与されることがあります。院号は、嵯峨天皇が譲位出家され嵯峨院と称されたことに始まります。鎌倉時代になると寺院を建立した武家に院号を贈るという事が始まり、江戸時代になるとそれが庶民にも広まっていきました。親鸞聖人には「院号」はありません。

お他宗では戒名を生前に付ける事はハードルが高いですが、浄土真宗の法名はみ教えの性格上、全ての人に開かれています。京都西本願寺では元旦、一月十六日の朝、お煤払いが行われる十二月二〇日を除くほぼ毎日朝と午後の二回、法名授与を行う「帰敬式」が行われています。築地本願寺でも報恩講や特別な法要時には「帰敬式」が行われています。詳細は、西本願寺・築地本願寺のホームページをご覧ください。